

継続的ローカリゼーション の成功に不可欠な テクノロジー

データシート



市場の本当のニーズにいち早く対応できる企業は、長期にわたる製品開発サイクルから脱却して俊敏性の高いプロセスに移行しています。この移行を促進しているのが、反復型の製品開発手法の拡大です。この手法では、製品の初回リリース後に市場の反応を観察します。市場の反応に基づいて製品の微調整や改良を行い、再び出荷します。

それと同時に、製品の提供中に製品サポートや顧客獲得の目的で制作されるコンテンツが増加しています。コンテンツは今や製品体験の一部に組み込まれており、ローカリゼーションが欠かせません。こうしたことから、コンテンツの量も製品開発の反復も増えているためにローカリゼーションに絶えずレッシュャーがかかるという最悪の状況が生まれています。

このプロセスを迅速かつ効率的に管理できる唯一のモデルが、継続的ローカリゼーションです。

従来のシステムの課題

翻訳会社 (LSP) がサービスモデルを適応させて、顧客に対応する方法を変えることが解決策の1つになりますが、継続的ローカリゼーション向けに構築された強力なテクノロジーフレームワークに投資することも不可欠です。プロジェクトの縮小や短期化に伴い、テクノロジーによって各プロジェクトのハンドオフと繰り返しタスクを自動化して可能な限り負担をなくす必要があります。

従来の翻訳管理システム (TMS) は、継続的ローカリゼーション向けに構築されたものではないため、この新たな業務遂行方法のスピードに対応できていません。そのため、プロジェクト進行中のファイルの定期更新や新規ファイルの追加の際に問題が発生します。従来のシステムでは、進行中の作業を妨げることなく途中で変更を反映するのが難しいためです。LSP は、TMS に制限があり、手作業が必要となるという理由で、追加や変更されたファイルの作業をためらったり、拒否したりすることがあります。すると、納期が厳しくなり、フラストレーションが発生します。

以前は、1件のプロジェクトで100のタスクが必要な場合もありました。継続的ローカリゼーションでは、10件のプロジェクトをそれぞれ10のタスクで完了できる可能性があります。タスク数は同じでも、プロジェクトマネージャーが管理する10件のプロジェクトは以前よりも小規模で短納期になっています。タスクを減らさなければ、プロジェクトマネージャーの負担が増えることになります。

コンテンツは今や製品体験の一部に組み込まれており、ローカリゼーションが欠かせません。



継続的ローカリゼーション向けに設計されたソリューション

Trados Enterprise は、俊敏性に優れたビジネス戦略の実行を可能にするために、継続的ローカリゼーション向けにゼロから設計されています。

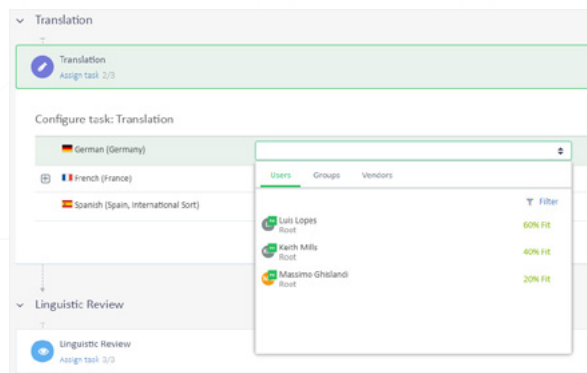
コンテンツコネクタと統合

コネクタがない場合、プロジェクトごとに手作業でファイルをインポート/エクスポートするという大変な手間がかかります。コネクタと統合によってこれらの作業を自動化することで、プロセスでの人的ミスリスクが減り、プロジェクトマネージャーはもっと重要なタスクに専念できます。

RWS では、お客様のニーズに応じて 50 以上のさまざまなコネクタを提供しています。e コマース、ウェブサイト、ユーザードキュメント、サポートチケット、各種コンテンツレポジトリなど、ビジネス全体にわたるシステムをすべて Trados Enterprise に接続し、プロセスの合理化や作業の効率化を実現できます。

RWS Linguistic AI

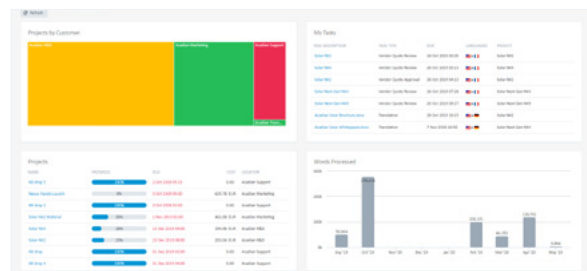
ローカリゼーション対象のコンテンツの増加に伴い、プロジェクトマネージャーの仕事量が急激に増え、プロジェクトの分析、前処理、計画にかけられる時間が減っています。この状況に対応するには、これらの作業に AI を活用します。



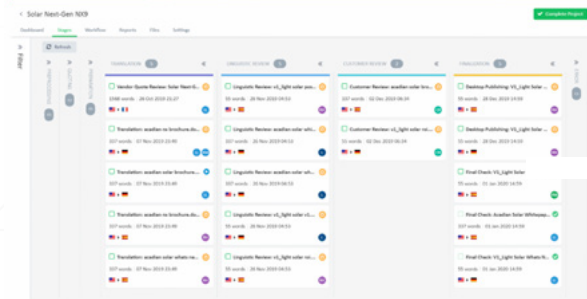
プロジェクトマネージャーが他のタスクに対応できるようにするため、コンテンツアナライザがファイルをレビューし、プロジェクトの内容を明らかにして、ファイル内のコンテンツのタイプについて迅速に推奨、プロジェクトに最適な翻訳者を提案します。インテリジェントな有効利用では、適切な言語データを使用し、ファイルの更新が繰り返されている間も現在進行中の作業を維持します。

最新のダッシュボード

すべてのプロジェクトの概要をすばやく把握して簡単に利用できるようになりました。ペルソナ手法を取り入れ、視覚的にわかりやすい最新のダッシュボードは、プロジェクトマネージャーのタスク/プロジェクト管理の効率向上と負担軽減に役立ちます。インテリジェントなダッシュボードにより、プロジェクトマネージャーはリスクを最小限に抑えて問題を回避できます。プロジェクトのスケジュールが厳しく、問題の解決に割く余裕があまりない場合は、問題の回避がプロジェクトの成功を大きく左右します。

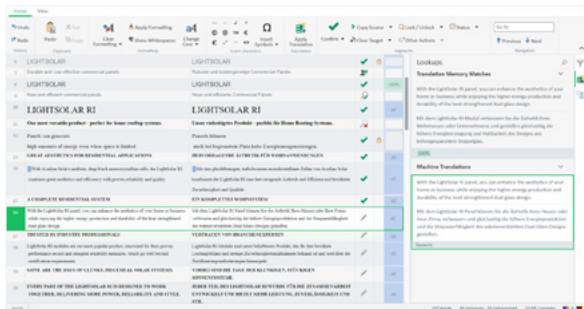


プロジェクトマネージャーは、小規模なプロジェクトをいくつも同時進行で担当することがよくあります。特に注意が必要なプロジェクトをヒートマップで特定し、すべてを順調に進めることができます。カンバンスタイルのビューでは、個々のプロジェクトの詳細を拡大表示すると、各タスクがワークフローのどの段階にあるのかがわかります。プロジェクトマネージャーは長いリストからタスクを探し出す必要はなく、プロジェクトステータスのスナップショットですべての重要な情報を簡単に確認できます。



完全統合された機械翻訳

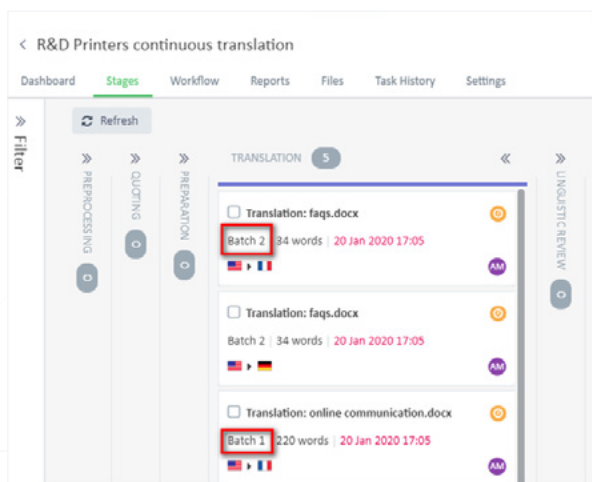
継続的ローカリゼーションでは、最終のソースコンテンツを待たずに作業が進められます。コンテンツ開発者は、同じコンテンツの繰り返しの増加と翻訳スケジュールの短縮に直面しています。この速いペースについていくためには、機械翻訳 (MT) との緊密な統合が解決策になる場合が多くあります。



ポストエディットや全自動 MT アプローチを採用すると、一刻も早い市場投入が求められる特定のコンテンツタイプの翻訳スピードを劇的に向上できます。納品を早められれば、同じコンテンツの繰り返しの同じ翻訳者がより多く担当できることになります。

プロジェクト進行中の更新への対応

従来の TMS では、既存のプロジェクトに新しいファイルや更新ファイルを追加すると、システムが中断されることがあります。新規ファイルを TMS で開いて前処理し、見積もりを更新し、翻訳者を選任するまで、プロジェクト全体が保留になり、スケジュールが遅れ、手作業に時間を取られます。

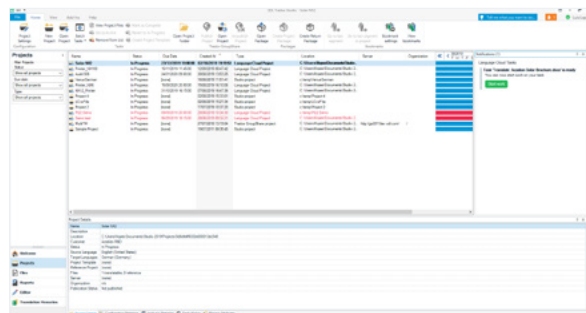


こうした進行中のプロジェクトでの更新が、効率よく簡単に進めるようになりました。新しいファイルを追加すると、タスクが新規作成されて既存のプロジェクトに統合されます。タスクはバージョン管理されるため、プロジェクトマネージャーは新規プロジェクトを設定してワークフローの全ステップを繰り返す手間を省けます。

Trados® との緊密な統合

翻訳者は、継続的ローカリゼーションに関してプロジェクト管理者と同様に課題に直面しています。より短い時間でより多くのファイルを翻訳しなければならないという課題です。ファイルや翻訳キットのアップロード/ダウンロードなどの手作業を効率化し、本来の仕事、つまり翻訳に集中できるようにする必要があります。

Trados Studio と Trados Enterprise の緊密な統合により、翻訳者はファイル処理を効率化して負担を軽減できます。Trados Studio においてオフラインで作業することがなくなります。



Trados Enterprise でタスクが割り当てられると、翻訳者にスマート通知が送信され、翻訳者は自分のデスクトップ編集環境でタスクを開くことができます。ファイルはバックグラウンドでダウンロードされ、翻訳者はシームレスに作業を進められます。Trados Studio で保存した変更は、Trados Enterprise に自動的にアップロードされます。

また、翻訳者は編集を簡単に行えるオンラインエディタを代わりに使用して、時間や労力を節約することもできます。

今後の新たな道筋

自動化された効率的でタイムリーな方法により、市場ニーズに対応し、ビジネス目標を達成するには、継続的ローカリゼーション戦略でテクノロジーの力と柔軟性を活用する必要があります。このテクノロジーは、今日の反復型ワークフロー向けにゼロから設計されたものでなければなりません。プロジェクト管理や翻訳者の負担を減らし、一貫して信頼性と再現性の高い成果を上げるテクノロジーです。

行く手にはだかる大量のコンテンツを、継続的ローカリゼーションのために特別に開発された Trados Enterprise で制御しましょう。

詳しくは、こちらをご覧ください。

rws.com/jp/trados-enterprise

RWS について

RWS Holdings plc は、テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツ管理サービス、知的財産サービスを提供するリーディングプロバイダです。RWS は、ビジネスに不可欠なコンテンツを大規模に配信し、イノベーションの保護と実現を可能にすることで、お客様が世界中の人々とつながり、新たなアイデアを提供することを支援します。

私たちのビジョンは、グローバルインテリジェンス、深い専門知識、スマートなテクノロジーを通じて、言語、コンテンツ、市場参入における課題を解決することにより、世界中の人々と組織をつなぐ橋渡しをすることです。

当社の顧客には、グローバルブランド上位 100 社のうちの 90 社、製薬会社上位 10 社、世界中の大手特許事務所 20 社のおよそ半数が含まれています。また、クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がり、テクノロジー、製薬、医療、法律、化学、自動車、行政機関、電気通信の各分野を網羅しており、5つの大陸に複数のオフィスを構えています。

1958年に設立された RWS は、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、www.rws.com/jp をご覧ください。

© All Rights Reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group* の機密情報および専有情報とみなされます。

* RWS Group とは、RWS Holdings PLC およびその関連会社および子会社の代表を意味します。